

(件名)

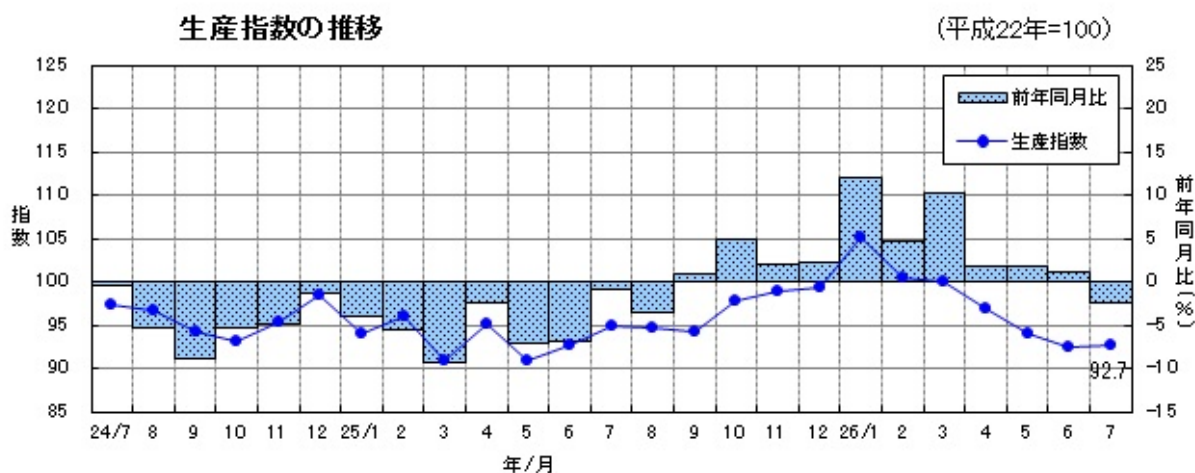
生産は6か月ぶりに前月比増となるも、総じて弱含みで推移 (静岡県鉱工業指数 平成26年7月分速報)

1 生産指数の動き

7月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成22年=100)は**92.7**となり、**前月比は0.3%増と6か月ぶりに上昇した。**

また、**前年同月比(原指数)は2.4%減と11か月ぶりに前年を下回った。**

業種別の前月比(季節調整済指数)では、はん用・生産用・業務用機械、電気機械、窯業・土石製品等が上昇する一方、食料品・たばこ、輸送機械、化学等が低下した。

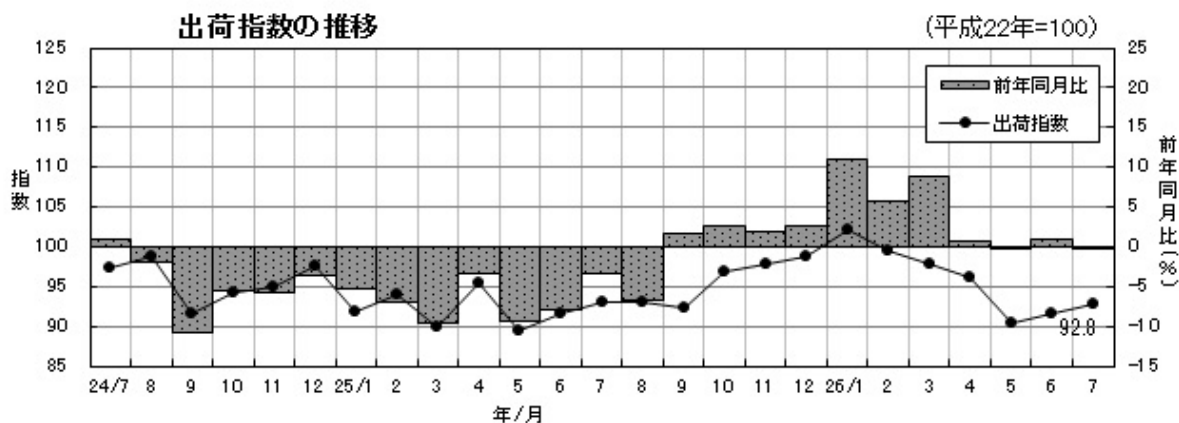


2 出荷指数の動き

7月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成22年=100)は**92.8**となり、**前月比は1.4%増と2か月連続して上昇した。**

また、**前年同月比(原指数)は0.3%減と2か月ぶりに前年を下回った。**

業種別の前月比(季節調整済指数)では、はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、パルプ・紙・紙加工品等が上昇する一方、食料品・たばこ、電気機械、窯業・土石製品等が低下した。

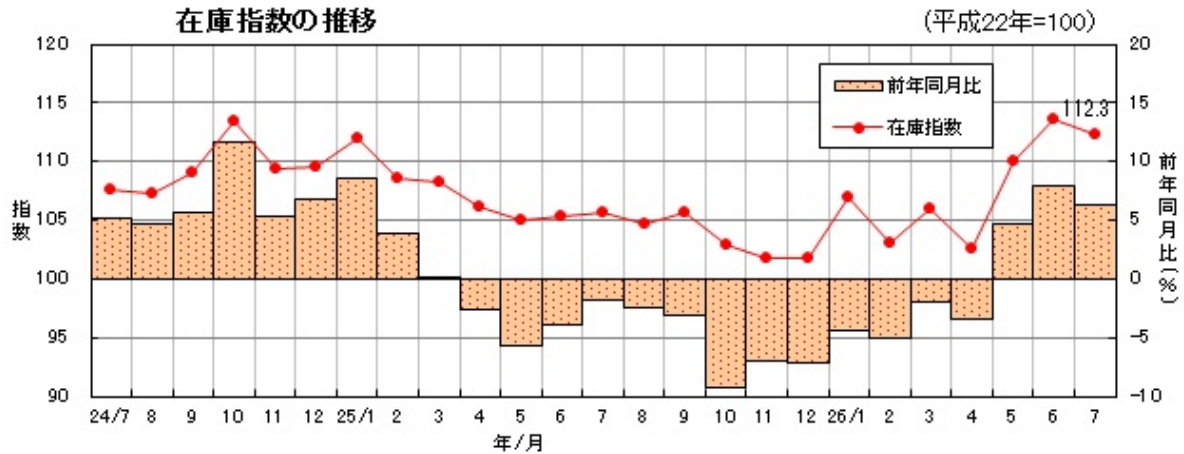


3 在庫指数の動き

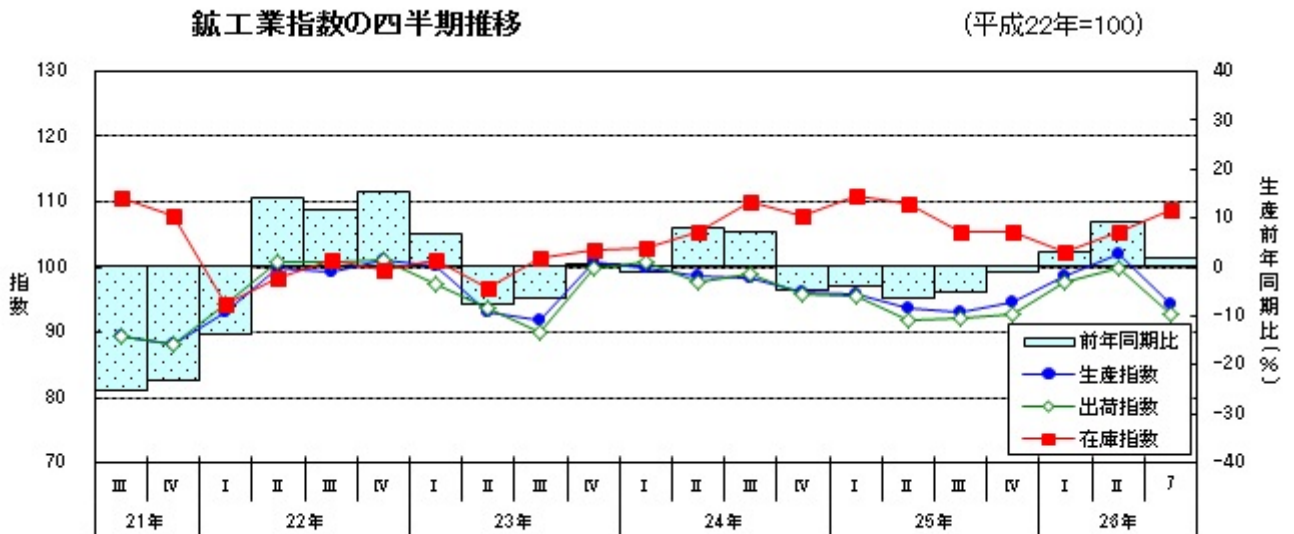
7月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は**112.3**となり、**前月比は1.1%減**と3か月ぶりに低下した。

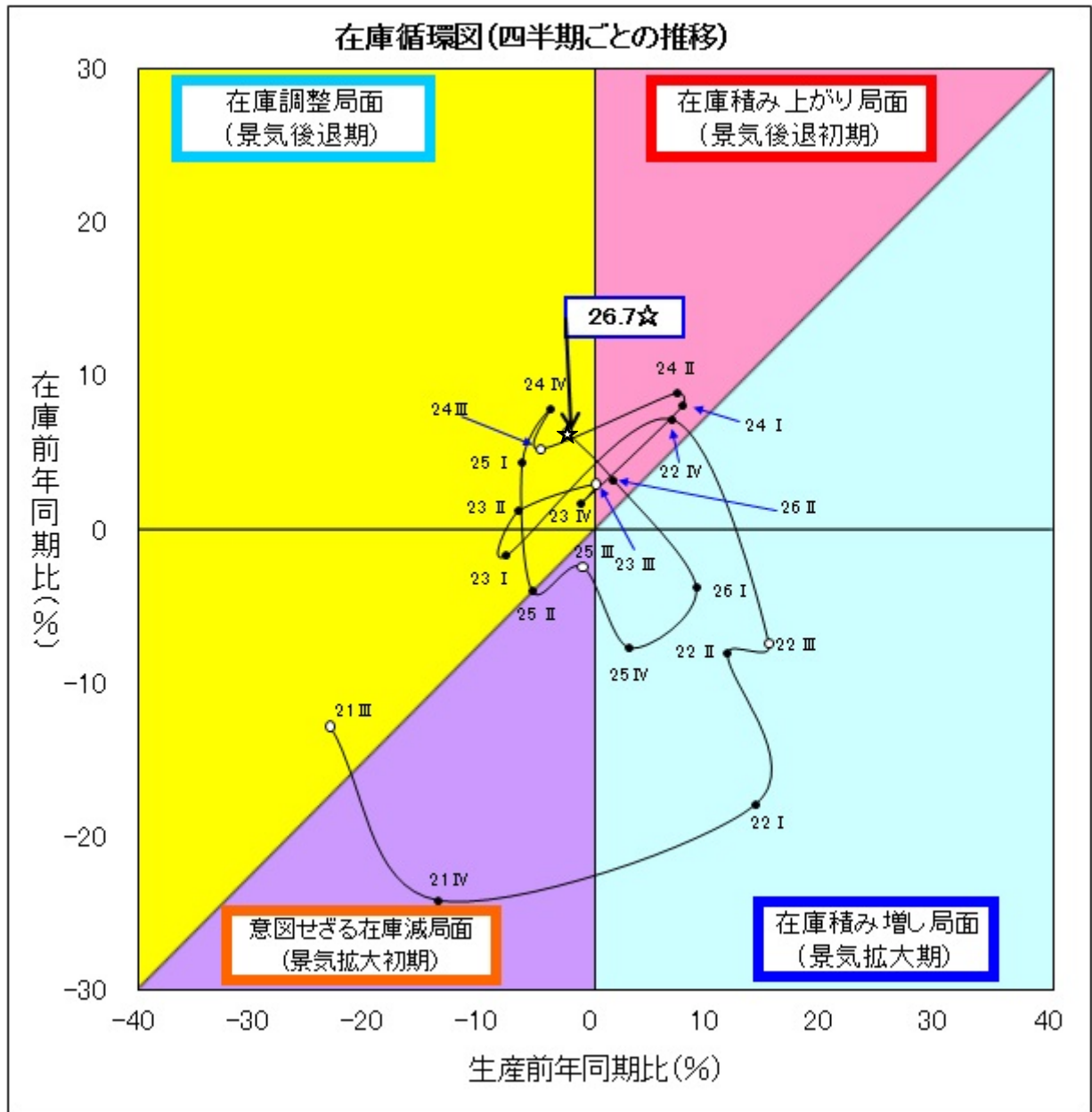
また、**前年同月比（原指数）は6.3%増**と3か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、家具、電気機械、パルプ・紙・紙加工品等が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、窯業・土石製品等が低下した。



<参考1> 四半期推移及び在庫循環図





- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ★ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 今季はここに該当**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。